

教会

シリーズ～新約聖書入門～

2017/1/29

使徒言行録2章41～47節

ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。すべての人に恐れが生じた。使徒たちによって多くの不思議な業とするしが行われていたのである。信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おのおのの必要に応じて、皆がそれを分け合った。そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。

突然生まれた「教会」

- 五旬祭の日(ペンテコステ)の不思議な出来事と、それに続くペトロの話しを聞き、一度に三千人もの人々が救われる!
 - ものすごい衝撃的な出来事+的確な説教
- 彼らは「洗礼を受け」た
 - どこでそんなに多くの人々の洗礼をしたのだろうか?
- 彼らは「仲間に加わった」
 - もともと使徒たちを中心とした120人ほどの「仲間」だった
 - 「人」ではなく「霊」として数えられている

～最初の教会で行われたこと①～

「使徒の教え」

- 「使徒」たちが教えた
 - イエス様の直接の目撃者であり、教えられ育てられた使徒たち
 - 十字架と復活・イエス様の教え
- 言葉の教えだけではなく、実証された
 - 「使徒たちによって多くの不思議な業としるしが行われていた」
- 「教え」こそ教会の土台
 - 自分一人で考えたり修行したりしても知ることとはできない

彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。

～最初の教会で行われたこと②～

「相互の交わり」

- 最初の教会は共同生活をしていた
 - 「信者たちは皆一つになって、すべての物を共有にし、財産や持ち物を売り、おのおのの必要に応じて、皆がそれを分け合った」
- 分かち合い、分担し合うのは教会の基本姿勢
 - 「交わり」の本来の語意は「分かち合い」
- 教会は本来の「家族」の再現である
 - 「今、時のある間に、すべての人に対して、特に信仰によって家族になった人々に対して、善を行いましょう。」ガラテヤ6:10

彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。

～最初の教会で行われたこと③～

「パンを裂くこと」

- 通常の食事か聖餐式か？
 - 「家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし…」
- 聖餐式の「パンとワイン」は彼らにとって普通の食事だった！
 - 毎食、聖餐式をしていた➤ **キリストの十字架の恵みを毎食毎に味わった！**
- 一緒に食事をすることは教会の中心的な働きである
 - イエス様も食事を大切にされた

彼らは、使徒の教え、相互の交わり、**パンを裂くこと**、祈ることに熱心であった。

～最初の教会で行われたこと④～

「祈ること」

- 彼らが集まって祈っている時に教会が誕生した
 - 「彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。」1:14
- 神殿でも祈った
 - 「ペトロとヨハネが、午後三時の祈りの時に神殿に上って行った。」3:1
- 祈りと共に賛美していた
 - 「神を賛美していた」

彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった。

これらのことに「熱心であった」結果 (献身的)

- 「民衆全体から好意を寄せられた」
 - 教会は人々に喜ばれる集団であるべき
 - 初代教会ははじめから迫害されたわけではない
- 「主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされた」
 - 教会は成長し続けた!
 - 「救われる人々」を加えて下さるのは、主イエス・キリストである➤**加えられる教会になろう!**

彼らは、使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに**熱心であった。**